

## 串田光信 《雷鳥》

昭和四十四年（一九六九）  
アルミニウム、鑄造、彫金  
二九・二 × 五四・五 × 六九・〇

昭和天皇と香淳皇后は、昭和四十四年五月に富山県で開催された植樹祭にご出席され、その後、同県内各所をまわられた。本作は、三協アルミニウム工業株式会社佐加野工場（高岡市）をご視察の折に、同社より献上された。県鳥であるライチョウを主題に、アルミニウムを鑄造して形作り、表面を削り加工によって仕上げている。作者の串田光信（一九二〇？）は、長く同県の工業試験場に勤め、昭和四十六年には高岡市伝統工芸産業技術保持者に指定された金工家である。

## 浅蔵五十吉（二代）

## 《飾皿 霊峰交歓》

昭和五十八年（一九八三）  
陶磁  
五七・〇 × 五六・六 × 一一・八

透明感のある青手古九谷様式に由来する緑色の釉薬の濃淡を生かして、霊峰白山に生息するライチョウとシヤクナゲを配した飾皿。昭和五十八年の昭和天皇の石川県行幸の折、同県知事より献上。

作者の浅蔵五十吉（二代、一九一三〜一九八）は石川県に生まれ、父から陶技を学んだ後、初代徳田八十吉、北出塔次郎に師事、日展を中心に活動した。九谷焼の伝統的な技法を踏まえた上で、独創的な造形、釉薬表現に挑んだ。平成八年（一九九六）に文化勲章を受章。

- ・各展覧会図録中，作品名や作者，制作年などの表記は，図録発行当時のものです。
- ・三の丸尚蔵館の展覧会図録の著作権はすべて宮内庁に属し，本ファイルを改変，再配布するなどの行為は有償・無償を問わずできません。
- ・三の丸尚蔵館の展覧会図録（PDF ファイル）に掲載された文章や図版を利用する場合は，書籍と同様に出典を明記してください。また，図版を出版・放送・ウェブサイト・研究資料などに使用する場合は，宮内庁ホームページに記載している「三の丸尚蔵館収蔵作品等の写真使用について」のとおり手続きを行ってください。なお，図版を営利目的の販売品や広告，また個人的な目的等で使用することはできません。

鳥の楽園 — 多彩、多様な美の表現

三の丸尚蔵館展覧会図録 No. 68

編集 宮内庁三の丸尚蔵館

制作 株式会社 東京美術

翻訳 黒川廣子

発行 宮内庁

平成二十七年三月二十一日発行

© 2015, The Museum of the Imperial Collections, Sanmonaru Shozokan